

2025年度

幼保連携型認定こども園 YMC A 保育園・おひさま分園 学校評価会

日 時：2026年1月17日(土) 午前10時40分～11時50分

場 所：幼保連携型認定こども園 YMC A 保育園 2階保育室

出席者：[保護者]：4名 [職員]：園長、主幹保育教諭2名

※第三者委員による抽出により当該園のクラス保護者を選出

※保育理念・使命、保育計画の説明と共に、1年間等の振り返りと意見交換を下記のとおり行った。

- ・ 幼児の異年齢保育や、遊びを通して学ぶ保育など引き続き大切にして欲しい。字を書く等はそううち出来るようになるが、遊びの中でしか身に付かない事がある。
- ・ 子どもを主体にした保育という点で、子どもの話を先生がよく聴いてくれている、子どもと向き合ってくれていると感じる事が多く、担任は毎年変わるが、若い先生やどの先生が担任になっても安心できた。
- ・ 分園0歳児入園、少人数でベテラン職員に担任してもらい安心感があつた。幼児に進級する際は本園の大人数の環境に当初は不安を感じた。
- ・ 家から近い幼稚園に預けることも検討したが、幼稚園だと預かり保育はありつつも、保育時間のベースが短時間保育にある事や、昼寝の有無も気になり、以前から知っているYMC A 保育園に預けることにした。
- ・ 子ども3人が通園し、10年以上保育園に通つたが、根本のポリシーは変わらずとも、やり方は時代に合わせてアップデートされている事が良いと思つた。例) 布おもむつ使用から紙おもむつも可能。写真販売が業者に委託。登降園のQRコード導入等。産休から復帰する職員も多く、働きやすい環境だから、子どもにも優しく関わってもらえるのだろうと感じている。
- ・ クリスマス会もコロナ禍を経て、開催方法が変わつたが、席に余裕が生まれた。祖父母のクリスマス会への参加の機会が増えた事も嬉しい。
- ・ 入園直後にワイワイまつりに参加し、担任以外の先生からも「〇〇君のお母さん」と大勢の先生から声を掛けてもらい、色々な先生に見てもらっているのだなと感じられた。
- ・ 入園前は、子どもと毎日ずっと一緒だったので、保育園に入園し、自分の知らない時間が出来ることに不安を感じた。でも今は、自分の知らない時間に先生や友達との関わりがある事を嬉しく感じている。
- ・ 特別な事があつた日でなくても、普段の何気ない姿を熱量を持って話してくれる職員の姿が嬉しい。
- ・ 慣らし保育の期間が、もっと短くならないか? 仕事の関係で、もっと日数を短くしてほしいという要望も多いと思う。  
→ 仕事復帰の時期に合わせ、相談・調整を進めている。

2025年度

幼保連携型認定こども園 西神戸YMCA保育園 学校評価会

日 時：2026年2月14日(土) 13時～14時

場 所：幼保連携型認定こども園 西神戸YMCA保育園

出席者：在園保護者3名(第三者委員選出)、園長および主幹保育教諭2名

※保育理念・使命、保育計画の説明と共に、1年間等の振り返りと意見交換を下記のとおり行った。

- ・直線距離で一番近い園を選んで、入園できた時は嬉しかった。
- ・赤ちゃんサロンに通っていたこともあり、YMCAの園を選んだ。
- ・先生方がその日の園の様子について、いつも丁寧に報告してくれるので、その日にどんな出来事があったのかがよく分かる。
- ・いつ、誰に聞いても応えてくれて、先生たちの中でハウレンソウが徹底されているので安心する。
- ・子どものことを認めてくれており、「親以外から自分は受け入れてもらっている、認めてもらっている」と子どもが感じ、前向きにとらえることができている。
- ・アレルギー対応も安心で、適切に対応してくれている
- ・遊びのなかでの育ちがされていることを感じる。
- ・入園前、公園へ移動する園児や保育者の様子を見て、子どもが強制されてしていない感じがあり、安心感があった。
- ・行事について。勤労感謝の日や、敬老の日などの行事も何かするのかと思ったが、クリスマスの礼拝と祝会を大切にしていることがよく理解できた。
- ・個人面談、懇談の回数はこれでよい。個人面談が2回もあったので手厚く、驚いた。
- ・このご時世なので、「防犯」の点は気になる。たまにしか行かない父親でも、すぐに入れてくれる。  
→職員は、保護者のお顔を把握している。もし分からない場合は、声かけをし、尋ねるようにさせていただいている。

2025年度

幼保連携型認定こども園 神戸学園都市YMCAこども園 学校評価会

日時：2026年3月3日（火）16:00～17:00

場所：幼保連携型認定こども園 神戸学園都市YMCAこども園 2階

出席者：在園児保護者：4名 職員：園長、主幹保育教諭2名

1. 挨拶・主旨説明（園長）
2. 出席者紹介
3. 学校評価
  - 1) 園の願い（理念や使命）説明（主幹保育教諭）
  - 2) 意見交換

#### 保護者の方より

##### \* 保育の様子について

- ・園内がいつも綺麗だと思う。子どもたちが掃除をする機会などはあるか。  
→年末・夏の大掃除等、幼児クラスを中心にロッカーなどをきれいにする機会を設けている。汚したら拭く、使ったら元の場所に戻すといった事を日常生活の中で経験するようにしている。乳児クラスでも保育者の姿を見て、真似る姿も見られる。
- ・乳児クラスの子どもが食後に椅子を片づけたり、机を拭こうとしたりする姿に感心した。
- ・保育の中で、机と椅子に座って集中するような時間はあるか。できれば、年長クラス位から就学に向けて、そのような経験をさせてほしい。  
→保育の中でじっと椅子に座って過ごすという時間は少なく、幼児クラスの毎朝の集まりと礼拝の時間で20分位。園では、子どもが興味や意欲がわくと長い時間集中して過ごす事もできるので、そのような環境を大切に過ごしている。学校での対応等、状況によって異なる面もあるが、幼保の連携を更に強めていきたい。
- ・担任以外の先生からも、名前を呼んでもらったり、様子を聞かせてもらったりして、全職員で子どもを見てくれているという雰囲気があって安心した。
- ・家では日々、時間に余裕がない中で過ごしているので、園で子どもたちがしたい事にじっくり取り組む環境を与えられていることは良かったと感じている。
- ・保護者交流会で他の保護者と話せる機会があり、同年齢の子どもの悩みの共有や情報交換ができ、自身の安心につながった。
- ・1歳から2歳の進級時の春に保護者交流があれば、新入園児の保護者と出会えてよいのではないか。行事として日程を増やすのではなく、日常で取り入れられたらよいと思う。  
→保育参加を複数の家族でする。日常のお散歩で出会う機会をつくるなど。検討できるかもしれない。

##### \* その他

- ・乳児クラスの毎月の「あゆみ」のコメントは、担任にしかわからない目線での内容でうれしかった。
- ・お弁当日（2歳児）のお弁当の置き場所が気になった。（無人の部屋は安全面で不安。）  
→早朝に登園する子どものお弁当の受け渡し方法を検討する。
- ・5歳児が卒園により不要になる布団やトレーナーなどのリユース会はとても良い。その他の物（家で不要になった服や玩具など）もリユースできる機会があれば良い。  
→園が仲介するのは置き場所等のこともあり難しいが、保護者同士がやり取りできる掲示板の設置などの方法を検討する。